

就活にも新聞を

崇城大で読み方講座

就職活動に役立つ新聞の読み方講座が14日、熊本市西区の崇城大で始まった。16日までの3日間、2017年春の就職を希望する同大3年生300人が

受講する。

年明け以降に本格化する就活を前に、新聞を読む習慣を身に付け、社会への感心を高めながら地元企業などの情報収集に役立てて

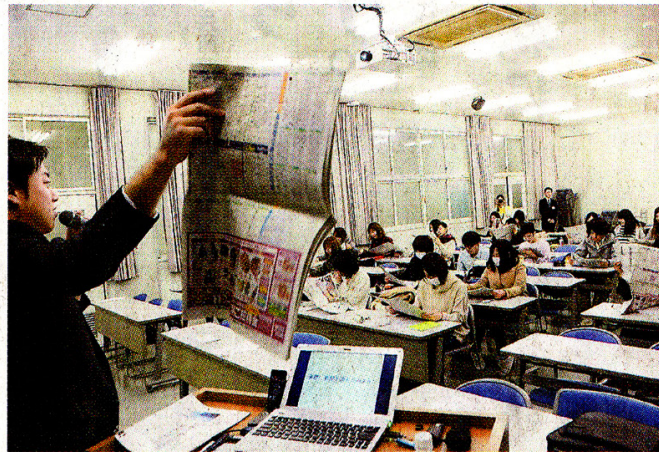


教育に新聞を

もらおうと、同大と熊本日日新聞社が企画。この日は芸術学部の33人が受講した。

同大の藤田崇キャリア・カウンセラーが来年度の採用スケジュールなどを説明。熊日広告局の宮崎常・営業企画部員が自身の就活経験を交え、「一面、経済面、社会面の見出しを読むだけでも社会の動きが分かる。興味を持った記事について友達と話せば伝える力も養える」と紹介した。受講した財前早希さん(20)「熊本市東区」は「毎日少しずつでも新聞に接するようになりたい」と話していた。

(松本敦)



新聞から効率よく情報収集するコツを学ぶ崇城大芸術学部の学生ら＝熊本市西区